

第5回ジュニアヨット国際親善レガッタ(ミキハウスカップ大阪2018) 実施報告

大会運営本部本部長 玉置 純
((一社)日本ジュニアヨットクラブ連盟 理事)



会場となった二色ハーバー

昨年は諸般の事情により中止となったジュニアヨット国際親善大阪レガッタですが、本年は開催場所を大阪府ヨットセーリング連盟二色ハーバー(大阪府貝塚市)に変更し、公益財団法人日本セーリング連盟(以下 JSAF)の後援と三起商行株式会社(ミキハウス)の特別協賛、大塚製薬株式会社、株式会社フォーチュンの協賛を得て、大阪府ヨットセーリング連盟と一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ(以下 JJYU)の共同主催により、10月21日(日)に第5回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ(ミキハウスカップ大阪2018)として開催いたしました。

地元の大阪をはじめ、和歌山、兵庫、香川より選手34名の参加があり、OP級上級クラスに15艇、OP級初級クラスに19艇の内訳となりました。

9時より開会式が行われ、伊藤雅宣レガッタ競技本部長(JJYU 専務理事)、特別協賛を頂いた三起商行株式会社取締役光川彰夫社長室長より選手たちへの激励の挨拶があり、後援の JSAF 桑原啓三副会長からもご挨拶を頂きました。

中川二郎レース委員長(JJYU 常務理事)から、レガッタの趣旨や注意事項等の説明があり、その後各艇出艇しレース海面へ向かいました。



伊藤雅宣競技本部長

三起商行(株)光川彰夫取締役

中川二郎レース委員長

競技は、OP 級上級クラスは二色ハーバー沖合い海面で、OP 級初級クラスは防波堤の直ぐ前のハーバー近くの海面で実施しました。

当日は晴天に恵まれ、風もほぼ安定した状態が続き、近くに関西国際空港、遠くには石海峡大橋を臨む中、選手達にとって絶好のコンディションとなり、日頃の練習の成果を大いに発揮してくれたものと思います。



上級者クラスは最終レース終了までハーバーには戻らず、4レースを実施しました。第1レース開始時4ノット程度の風も最終第4レース時には8~10ノットまで上がりましたが、上位艇は安定した走りを見せており、随所でつばぜり合いが演じられました。抗議等もありましたが予定通り4レースを行う事ができました。

■上級者レース風景



初級者クラスは昼休みにはハーバーに戻りながらも6レースを消化する事ができました。コースを間違い順位を落とす選手もいましたが、大きなトラブルも無くレースを終えました。また、フィニッシュラインが観覧スペースとなった防波堤近くに設置された為、陸上よりコーチや保護者の選手への大きな声援が響いていました。

■初級者クラスレース風景



このレガッタでは、大阪府ヨットセーリング連盟の皆さんがドローンでのレース撮影をされて、当連盟のHPにもアップさせて頂く事が出来ました。



揺れる船のうえで巧みにドローンをコントロール

全レース終了後、表彰式・閉会式も兼ねた、親善交流パーティーを陸上本部前で行いました。

レガッタを共同主催した大阪府ヨットセーリング連盟 岩崎 清彦会長よりご挨拶を頂いた後、表彰式を行いました。



大阪府ヨットセーリング連盟 岩崎 清彦会長

表彰式では、各級の1～3位に金、銀、銅メダルと6位までに表彰状の授与を行うとともに、ミキハウス様、フォーチュン様より提供頂いた副賞の賞品も授与しました。

さらに OP 級上級優勝者の兵庫県セーリング連盟の菅野 響君にはクリスタルガラス製ミキハウス優勝カップ(持回り)が授与されました。

また、OP 級初級優勝は和歌山ジュニアヨットクラブの岸 怜大君、クラブ対抗レース優勝(海外セーリング研修への参加資格授与)は和歌山ジュニアヨットクラブとなりました。

その後、高間博之プロテスト委員長(JJYU 理事)からレース講評があり、表彰式を終えました。



OP 級上級者上位入賞の選手たち



OP 級上級者上位入賞の選手たち



クラブ対抗レース優勝の和歌山ジュニアヨットクラブ

親善交流パーティでは、大阪府ヨットセーリング連盟の皆様による、心づくしの料理が供され、選手を始めとする参加者一同が舌鼓を打ちました。

レガッタの締めくくりに、ミキハウス所属のオリンピック須長 由季選手よりこの冬の過ごし方が次の年の成績にとって重要になるとの話しと来年もこのレガッタで会いましょうとの挨拶を頂き、本レガッタを終了しました。

最後に本レガッタにご協力頂いた全ての関係者に感謝申し上げるとともに、来年のレガッタがより多くの参加者を得て充実したものとなるようご協力を重ねてお願いして、報告とさせていただきます。
以上



親善パーティーでは美味しいメニューが盛りだくさん



須長 由季選手と恒例のジャンケンゲーム 須長 由季選手よりご挨拶

大阪府ヨットセーリング連盟の皆様、どうもありがとうございました。

